

第 47 回 千代田区民世論調査

＜概要版＞

この概要版は、9月に実施した「第 47 回千代田区民世論調査」の結果を要約したものです。

1. 調査の目的

本調査は、区民の意識や生活実態のほか、区政に対する意向や要望を把握するとともに、施策・事業評価の指標を得ることにより、今後の区政運営の参考とすることを目的とする。

2. 調査項目（詳しいものは2ページにあります）

- | | |
|----------------|------------------------|
| (1) 区民の定住性 | (9) 第二次健康千代田 2 1 の中間評価 |
| (2) 居住環境評価 | (10) 自殺対策 |
| (3) 区の施策への要望 | (11) 男女平等、人権、国際交流 |
| (4) 施策の満足度・重要度 | (12) スポーツ実施率 |
| (5) 区の施設への要望 | (13) まちづくりの進め方について |
| (6) 広報活動 | (14) 地区計画などのまちづくりルール |
| (7) 町会・ボランティア | (15) 区民の防災対策 |
| (8) かかりつけ医 | |

3. 調査の設計

- | | |
|------------|------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 千代田区全域 |
| (2) 調査対象 | 千代田区在住の満 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 2,000 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳から層化無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | [配布] 郵送配布
[回収] 郵送回収またはインターネット回答 |
| (6) 調査期間 | 令和2年9月 23 日～10 月 14 日 |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社CCNグループ |

4. 回収結果

標 本 数	有効回収数	有効回収率
2,000	1,171	58.6%

回収方法	有効回収数	構成比
郵送回収	657	56.1%
インターネット回答	514	43.9%
合計	1,171	100.0%

5. 回答者の属性

【年代別】

	基 数	構成比
18～29 歳	157	13.4%
30 歳 代	242	20.7%
40 歳 代	275	23.5%
50 歳 代	200	17.1%
60～64 歳	65	5.6%
65～69 歳	62	5.3%
70～74 歳	93	7.9%
75 歳以上	73	6.2%
無 回 答	4	0.3%
合 計	1,171	100.0%

6. 図表の見方

- (1) 集計表の回答比率は小数第2位を四捨五入し、第1位までを表示している。従って合計が 100.0%にならない場合がある。また、複数回答（選択肢からいくつでも選ぶ形式）の質問では回答比率が 100 を超える場合がある。
- (2) 本文図表および集計表のnは回答者数を表している。設問ごとに回答者数(n)を基数として比率を算出している。

今回の調査項目は次のとおりです。このうち、★印のある項目をこの概要版に掲載しました。
なお、調査報告書の全文は、広報広聴課(区役所6階)、区政情報コーナー(区役所2階)、各出張所でご覧いただけます。

属 性

- (1) 性別
- (2) 回答者の年代
- (3) 住居地域
- (4) 職業
- (5) 世帯構成
- (5-1) 同居家族の人数
- (5-2) 同居する子どもの属性
- ★(6) 住居形態
- (7) 町会の加入状況

1. 区民の定住性

- ★(1) 居住年数
- ★(2) 定住意向
- ★(2-1) 定住意向の理由
- (2-2) 転出意向の理由

2. 居住環境評価

- (1) 周辺的生活環境評価
- (2) 周辺の居住環境の満足度

3. 区の施策への要望

- ★(1) 力を入れてほしい施策

4. 施策の満足度・重要度

- ★(1) 施策の満足度・重要度

5. 区の施設への要望

- (1) 整備・充実すべき施設

6. 広報活動

- ★(1) 区政情報の取得媒体
- (2) 広報千代田の閲読の有無
- (2-1) 広報千代田の閲読状況
- (2-2) 広報千代田を読まない理由
- (3) 自宅での新聞購読の有無

7. 町会・ボランティア

- ★(1) 地域の活動(町会やボランティア活動など)への参加状況
- (2) 町会・ボランティア活動で力を入れて欲しい分野

8. かかりつけ医

- ★(1) かかりつけ医の有無
- (1-1) かかりつけ医の医療機関
- ★(2) かかりつけ歯科医の有無

9. 第二次健康千代田21の中間評価

- ★(1) 地域の人との関わり
- (2) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度

10. 自殺対策

- ★(1) 千代田区自殺対策計画の認知度
- ★(2) 悩みを相談できる人の有無
- (2-1) 悩みを相談する相手
- (2-2) 相談内容
- (3) 悩みを相談する手段
- (4) 自殺を考えたことの有無

11. 男女平等、人権、国際交流

- ★(1) 性別による不平等を感じるかどうか
- (2) 人権が尊重されている社会だと思うか
- (3) 最も関心のある人権問題
- ★(4) L G B T sについて正しく理解したいと思うか
- (5) 同性のパートナーの権利について
- (6) 平和事業への参加の有無
- (6-1) 参加したことがある平和事業
- (7) 国際交流や平和関連の事業への参加の有無
- (8) 区在住の外国人との交流意向

12. スポーツ実施率

- ★ (1) 運動・スポーツを行う頻度

13. まちづくりの進め方について

- ★ (1) まちづくりをより良くするために必要なもの
- ★ (2) まちづくりのために取り組むべき具体的施策

14. 地区計画などのまちづくりルール

- ★ (1) 「地区計画」の認知度
 - (1-1) 「地区計画」の内容の認知度
 - (1-2) 「地区計画」の内容の満足度
 - (1-3) 「地区計画」の変更の必要性
 - (1-4) 「地区計画」の新規策定の必要性
 - (1-5) 「地区計画」に必要なルール

15. 区民の防災対策

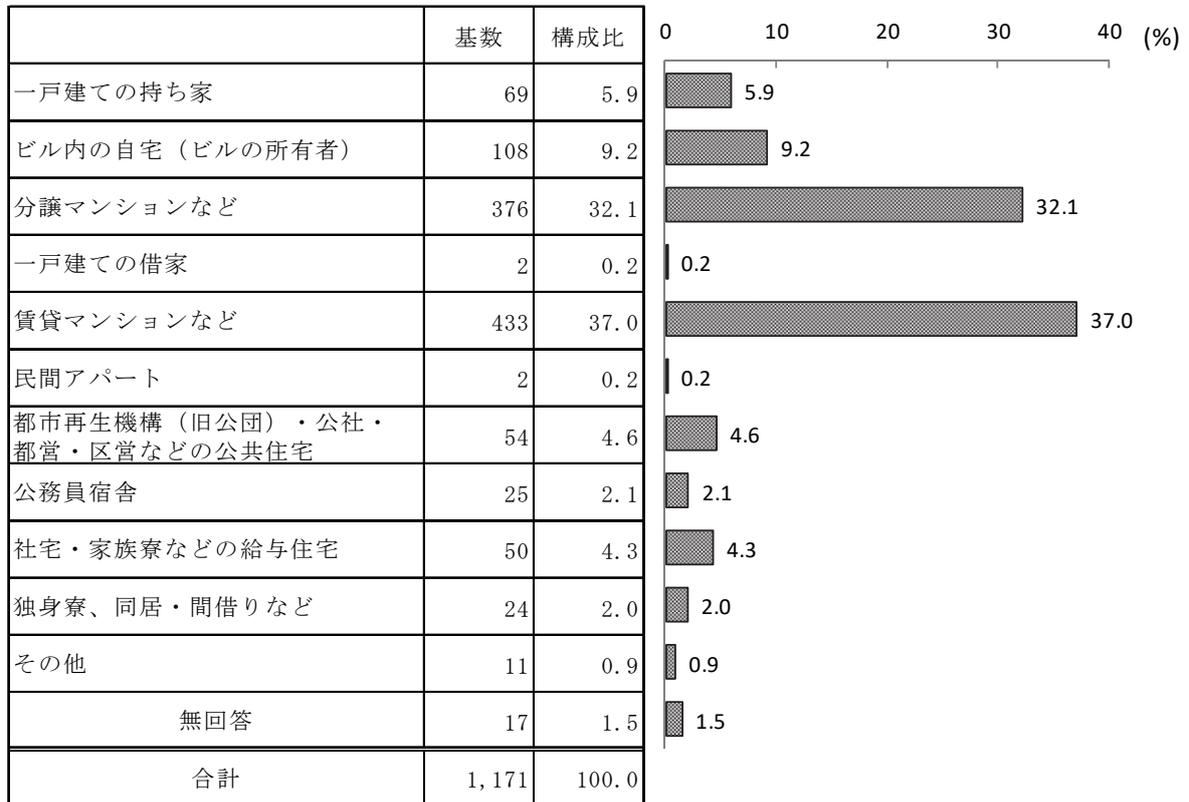
- ★ (1) 地域の避難所の認知状況
 - (2) 震災時に転倒のおそれのある家具などへの安全対策
 - (3) 洪水などの災害リスクの認知度
 - (4) 災害が起きた時の避難方法
- ★ (5) 地震などの災害に備えて備蓄しているもの
 - ★ (5-1) 災害に備えた飲料水・食料品・携帯トイレの備蓄状況

属性

住居形態

◇「賃貸マンションなど」が3割台半ばを超え、「分譲マンションなど」が3割強

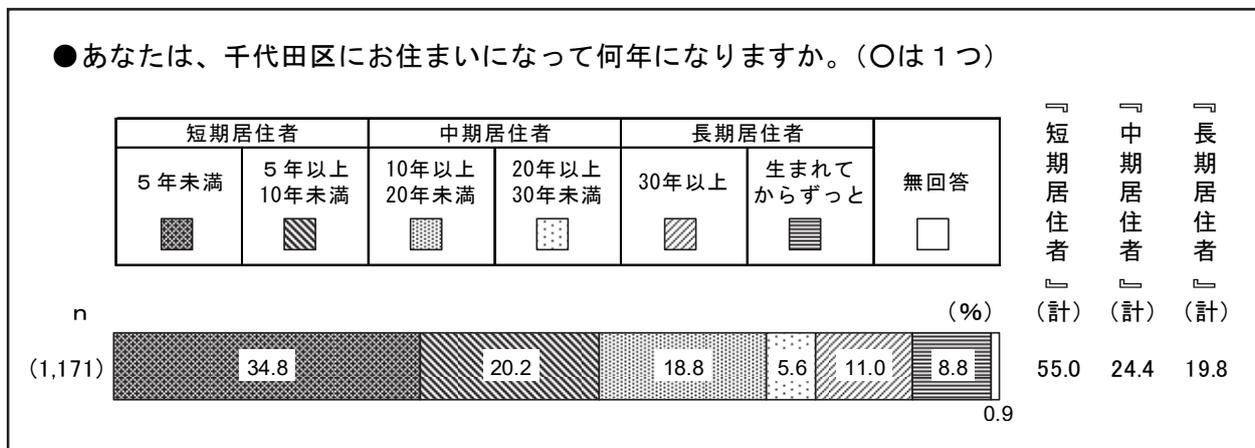
●あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)



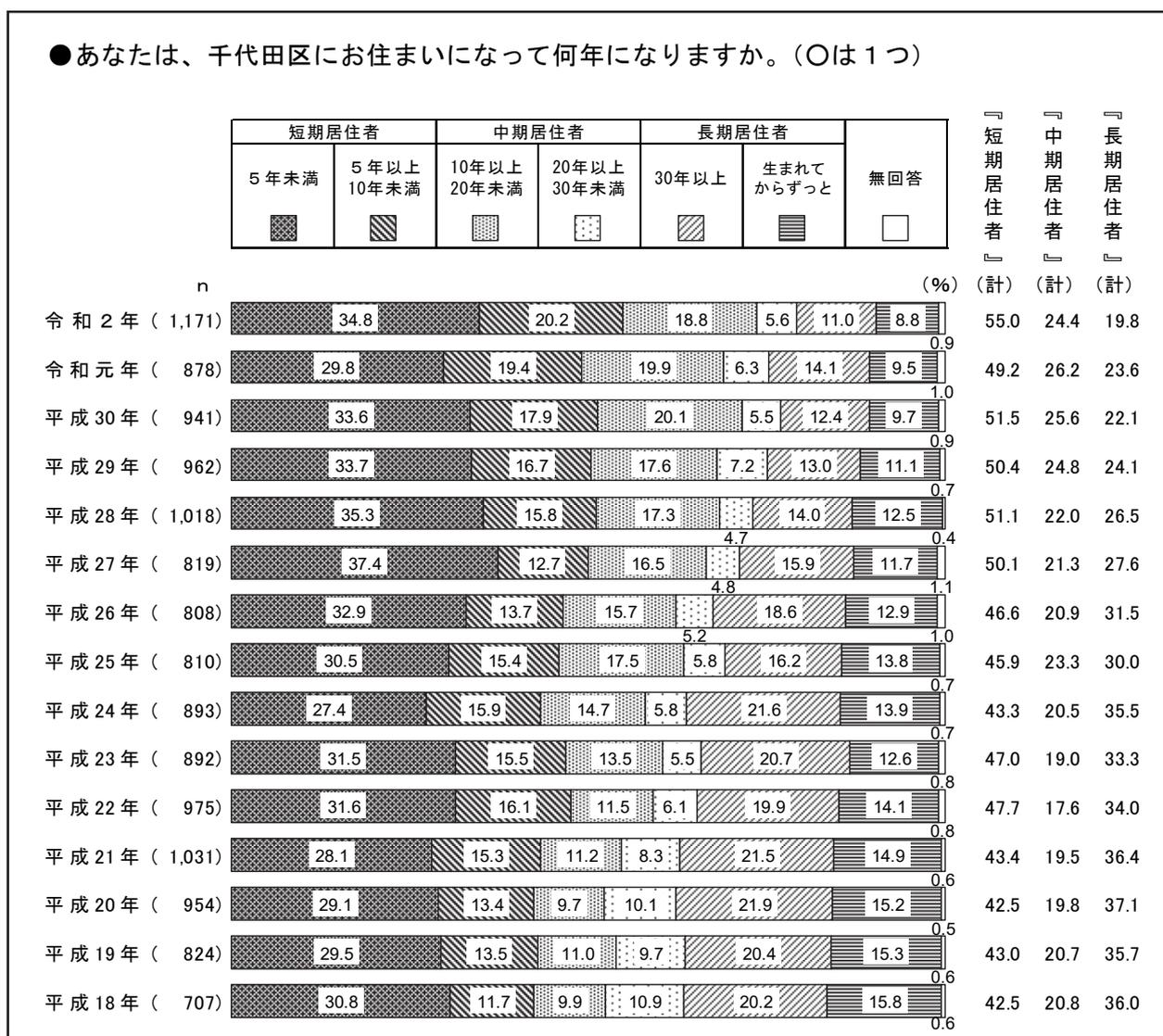
1. 区民の定住性

居住年数

◇「5年未満」と「5年以上10年未満」を合わせた『短期居住者』が5割台半ば



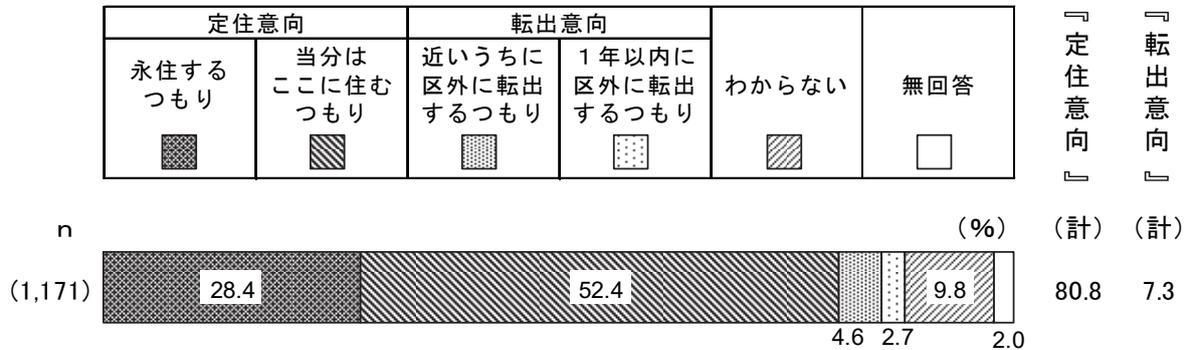
◇『短期居住者』は増加に転じ、「生まれてからずっと」は平成28年以降減少傾向



定住意向

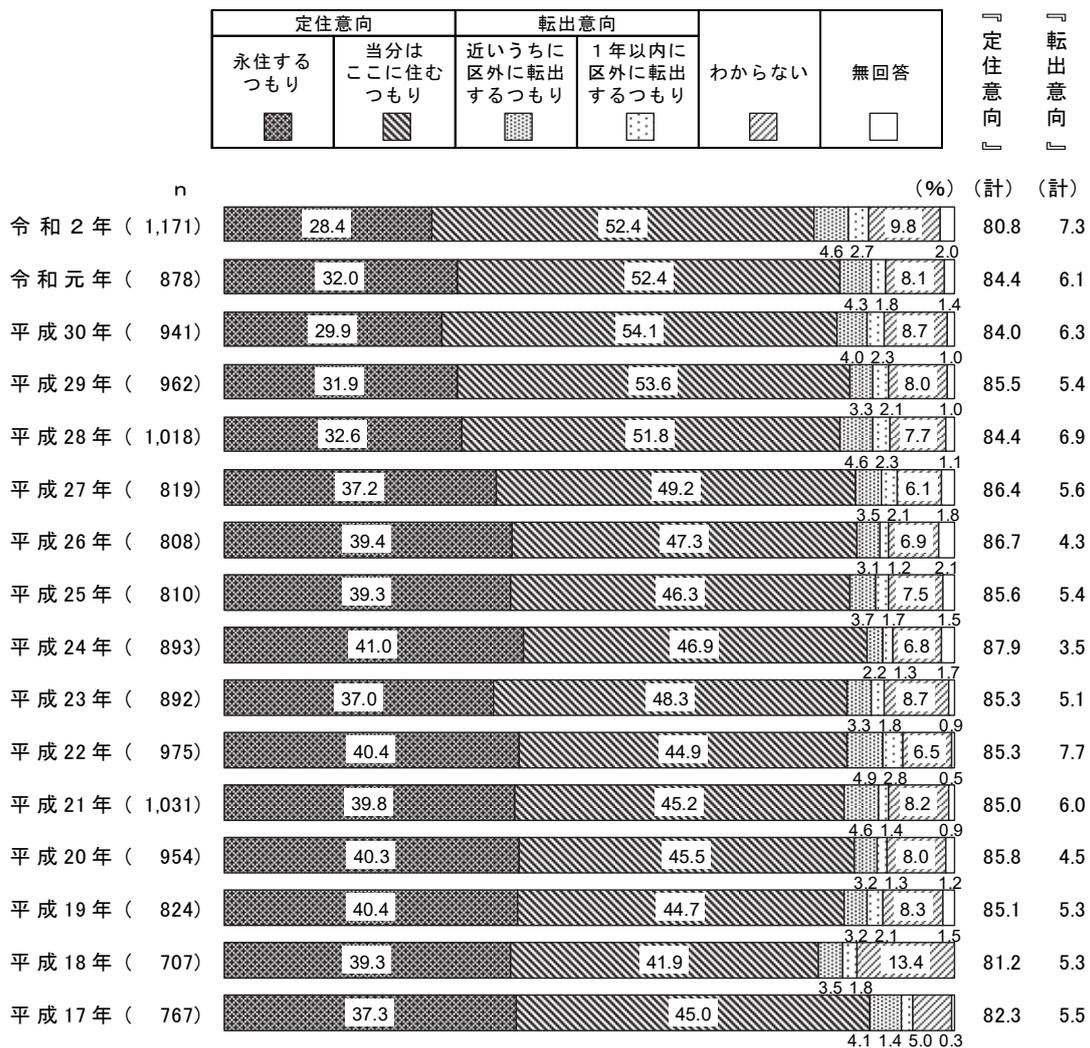
◇「永住するつもり」と「当分はここに住むつもり」を合わせた『定住意向』が約8割

●あなたは、これからも千代田区にお住まいになりますか。(〇は1つ)



◇平成17年以降「当分はここに住むつもり」が最も高い割合

●あなたは、これからも千代田区にお住まいになりますか。(〇は1つ)

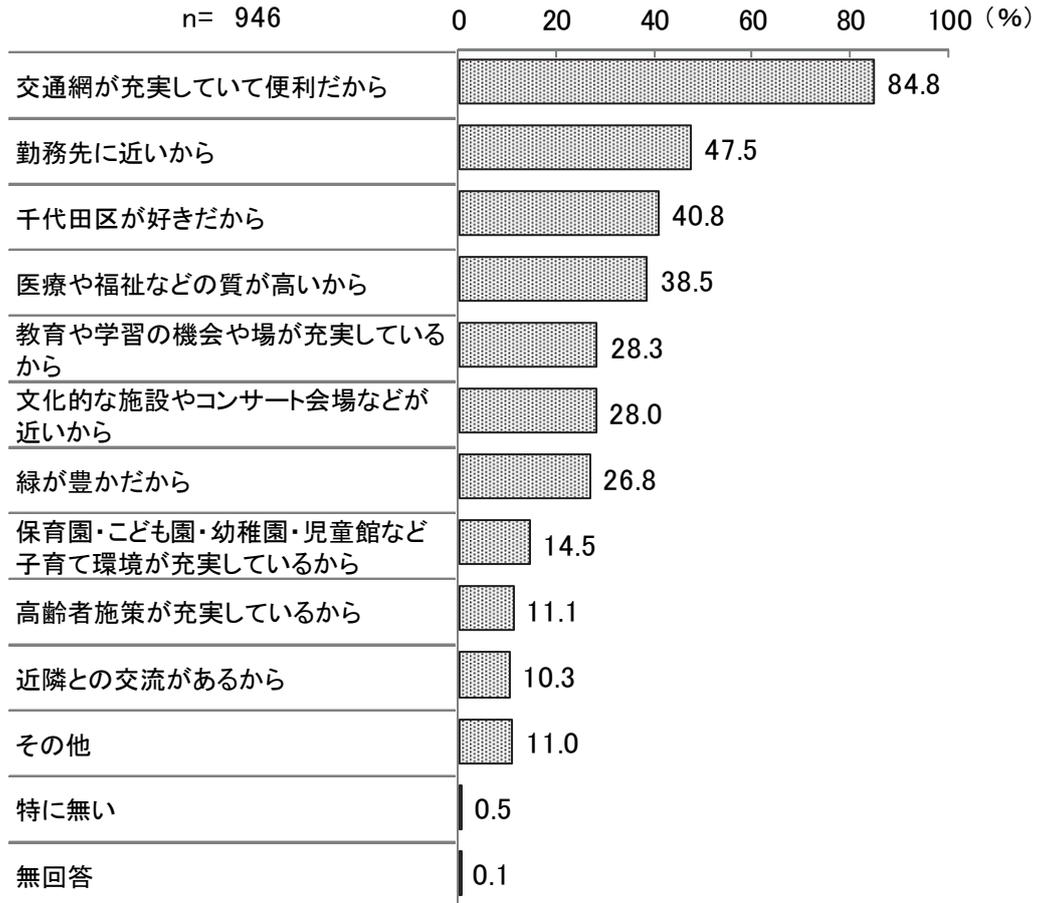


定住意向の理由

◇「交通網が充実していて便利だから」が8割台半ば近く

(「永住するつもり」か「当分はここに住むつもり」とお答えの方に)

●あなたが、そう思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

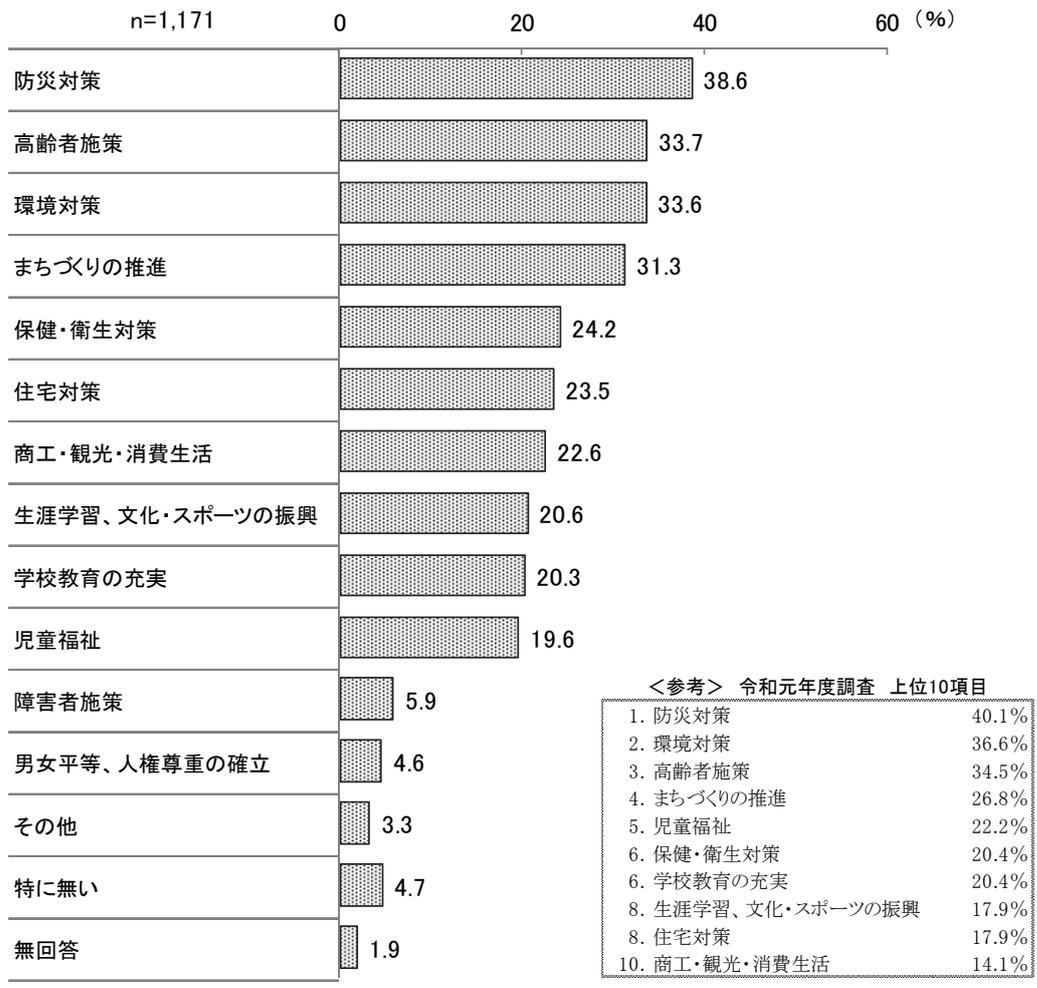


3. 区の施策への要望

力を入れてほしい施策

◇「防災対策」が4割近く

●これからの区政全体について考えた場合、あなたは、どの分野に力を入れてもらいたいと思いますか。特に力を入れて取り組んでほしい分野について、下記1～14の中から優先順位の高い順に3つ選んで番号を記入してください。



※「力を入れてほしい施策」については4つ以上回答した場合でもすべて集計しています。

4. 施策の満足度・重要度

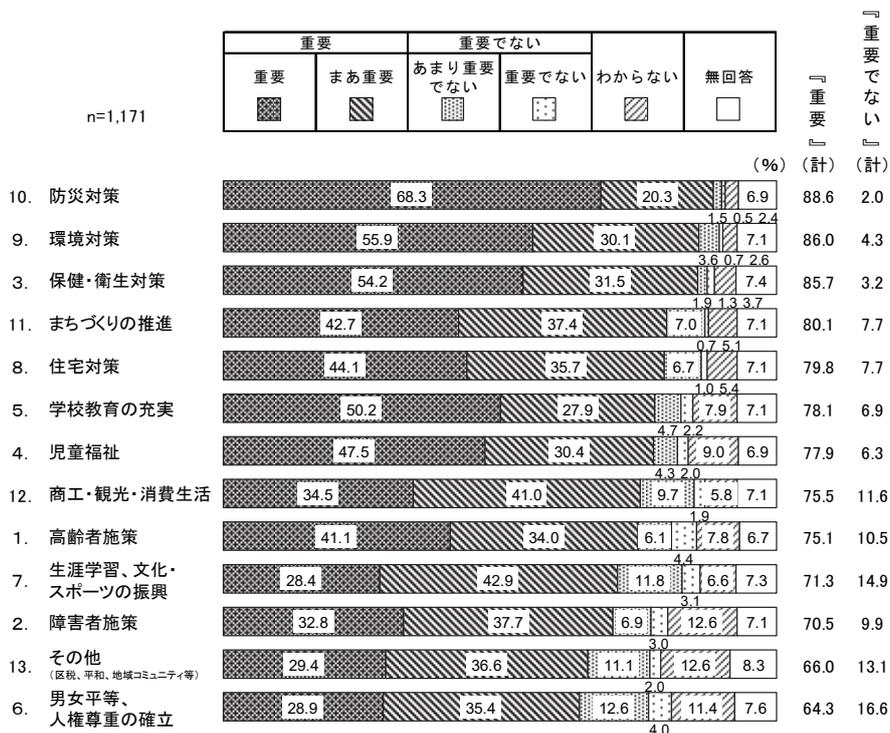
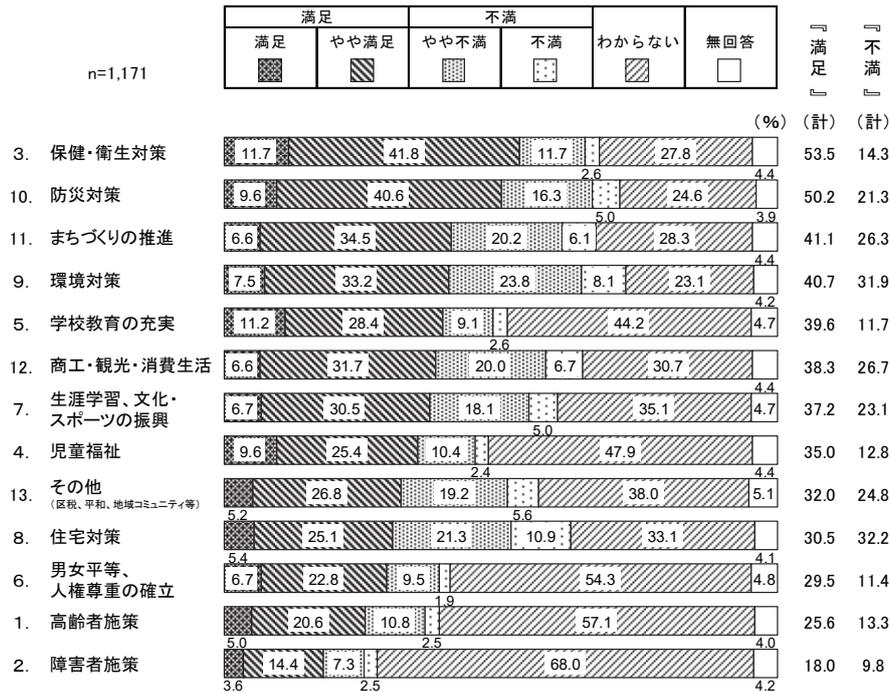
施策の満足度・重要度

『満足度（重要度）が高い』
 ⇒ 「満足（重要）」と「やや満足（まあ重要）」の合計が高い
 『満足度（重要度）が低い』
 ⇒ 「不満（重要でない）」と「やや不満（あまり重要でない）」の合計が高い

◇満足度が最も高いのは“保健・衛生対策”、最も低いのは“住宅対策”

◇重要度が最も高いのは“防災対策”、最も低いのは“男女平等、人権尊重の確立”

●あなたは、問5のそれぞれの分野についてどれくらい満足していますか。また、どのくらい重要（大切）だと思いますか。項目ごとに5段階で評価し、該当する番号に○を付けてください。（13分野すべてにご回答ください。）



施策の満足度と重要度の相関

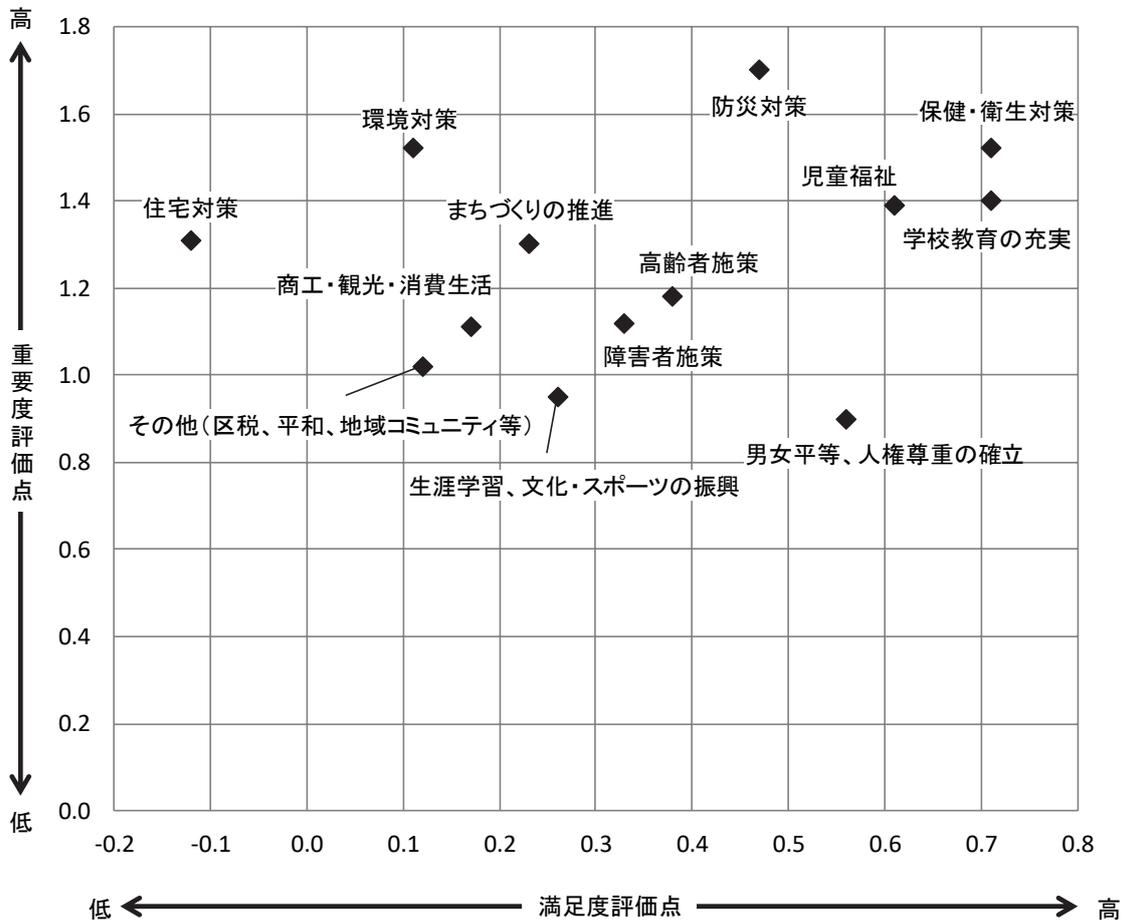
次の図は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。

下記の計算式のように、4段階の各評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出した。

$\text{満足度評価点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 1 \text{点} + \\ & \text{「やや不満」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者数}}$
$\text{重要度評価点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「重要」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「まあ重要」の回答者数} \times 1 \text{点} + \\ & \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「重要でない」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者数}}$

注) 回答者数は、「わからない」と無回答を除く。

右に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど重要度が高いと言える。満足度評価点が低く、重要度評価点が高い領域（左上方）にある項目が、住民ニーズの高いものと考えられる。

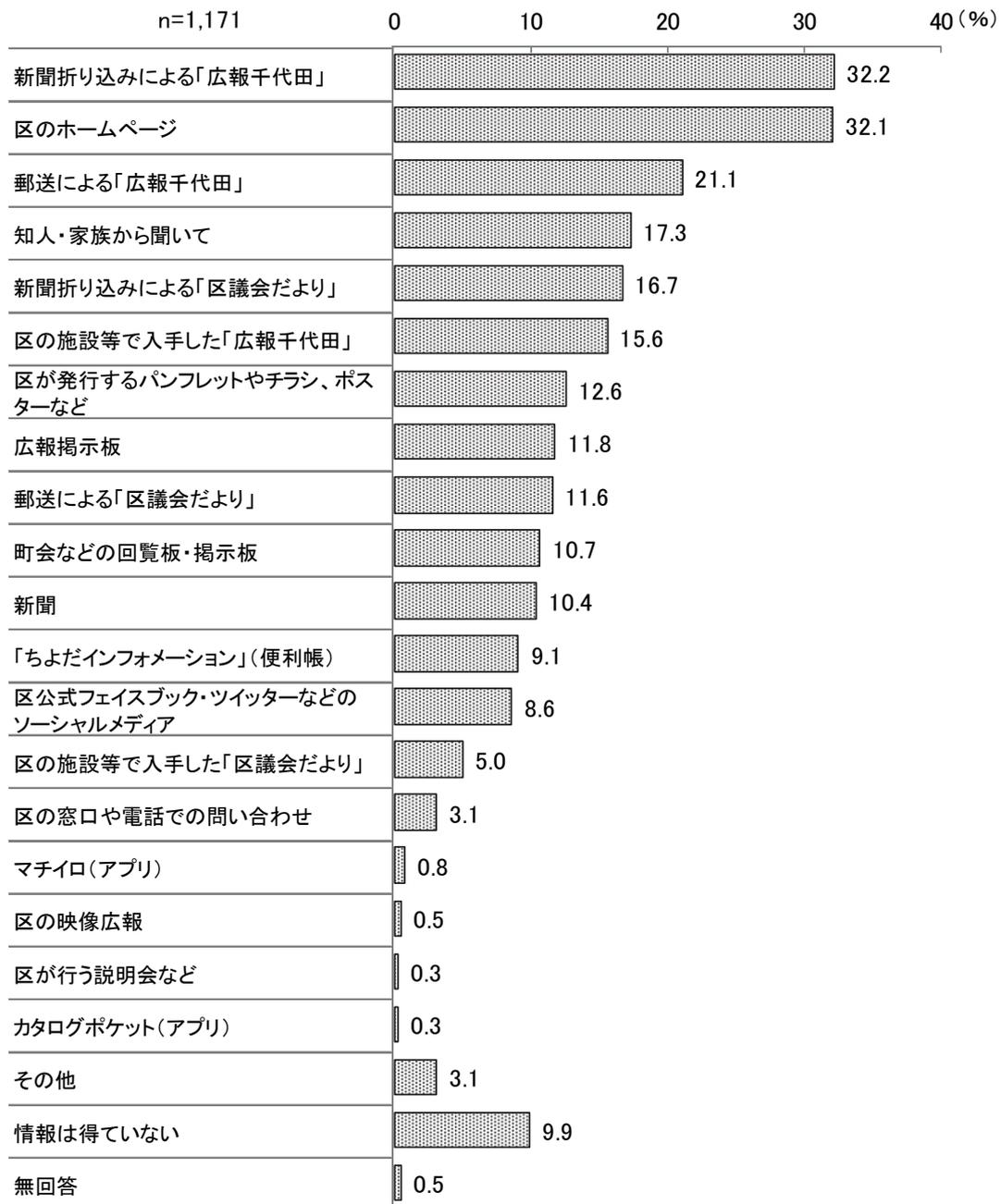


6. 広報活動

区政情報の取得媒体

◇「新聞折り込みによる『広報千代田』」が3割強

●あなたは区に関する情報をどこから得ていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)



7. 町会・ボランティア

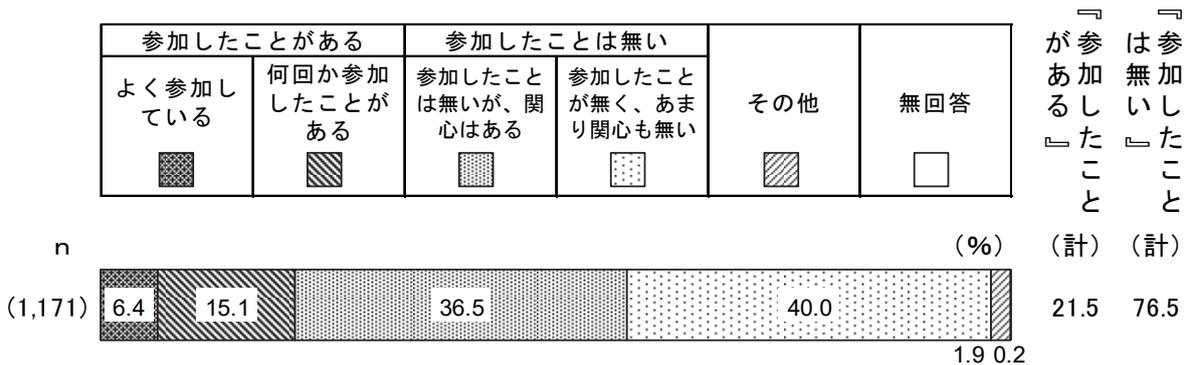
地域の活動（町会やボランティア活動など）への参加状況

◇「参加したことが無く、あまり関心も無い」が4割

●あなたは地域の活動（町会やボランティア活動など）に参加したことがありますか。

（○は1つ）

※例えば、地域で行われる防災訓練、防犯パトロール、道路・公園の清掃活動や花壇の手入れ、イベントの企画・運営のほか、各種ボランティア活動への参加など。

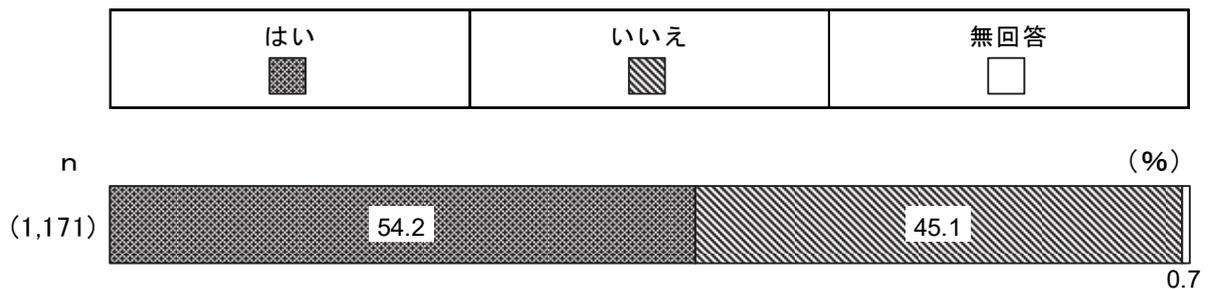


8. かかりつけ医

かかりつけ医の有無

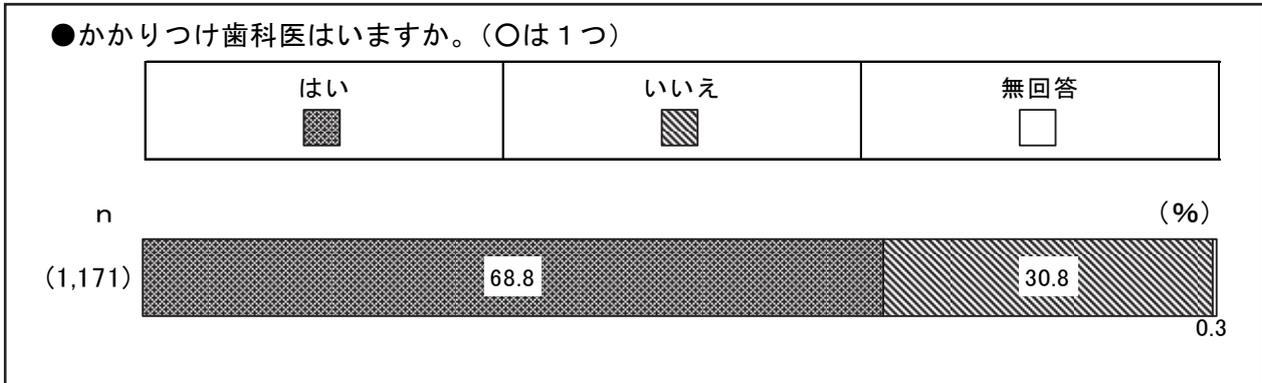
◇かかりつけ医がいるのは5割台半ば近く

●かかりつけ医はいますか。（○は1つ）



かかりつけ歯科医の有無

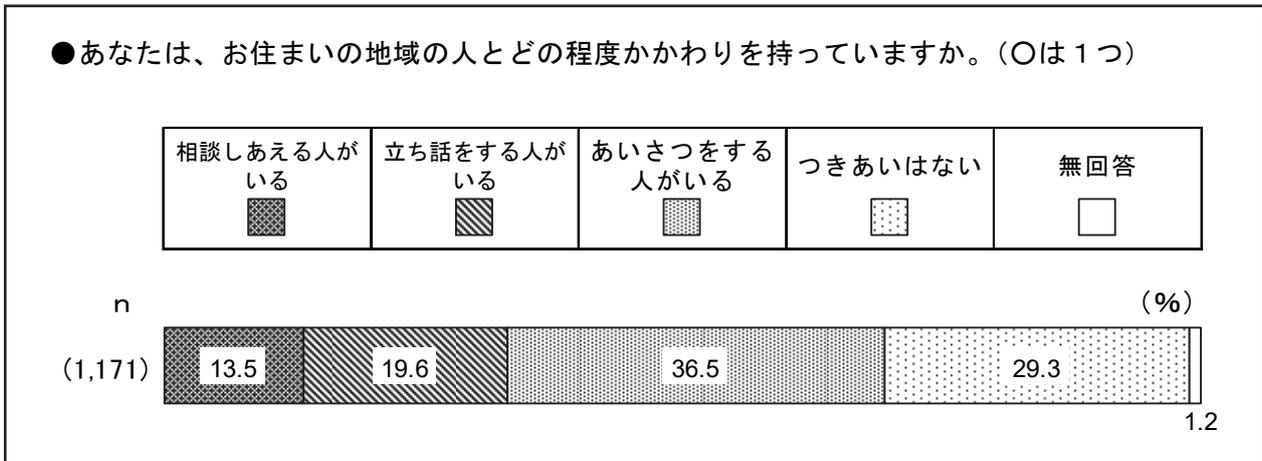
◇かかりつけ歯科医がいるのは7割近く



9. 第二次健康千代田21の中間評価

地域の人との関わり

◇「あいさつをする人がいる」が3割台半ばを超える

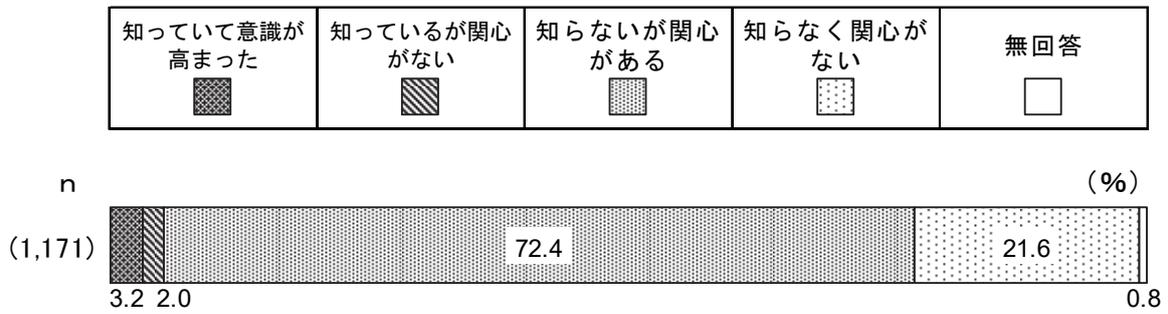


10. 自殺対策

千代田区自殺対策計画の認知度

◇「知らないが関心がある」が7割強

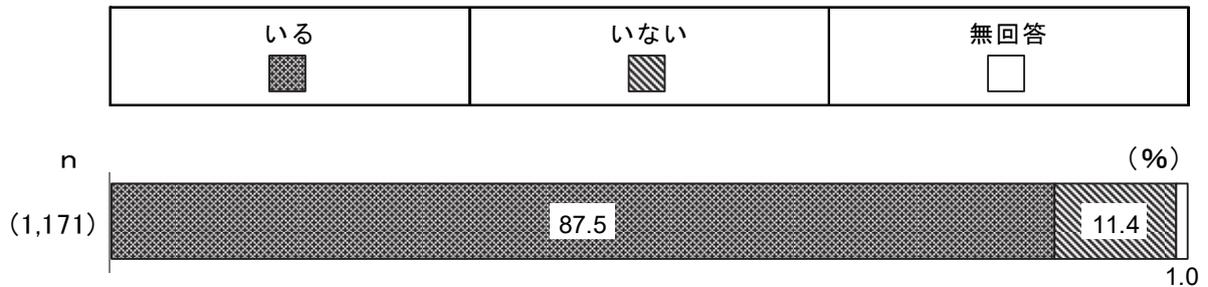
●区では、誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指すため、平成31年3月に千代田区自殺対策計画を策定しましたがご存じですか。(○は1つ)



悩みを相談できる人の有無

◇「いる」が8割台半ばを超える

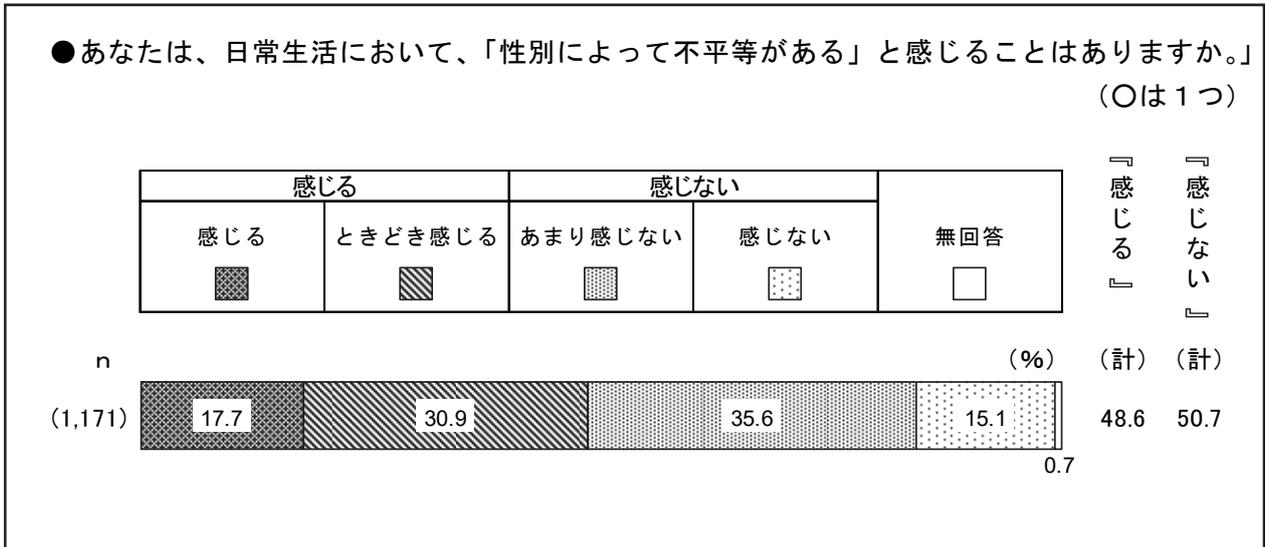
●あなたは、悩みやストレスを感じたときに相談できる人がいますか。(○は1つ)



11. 男女平等、人権、国際交流

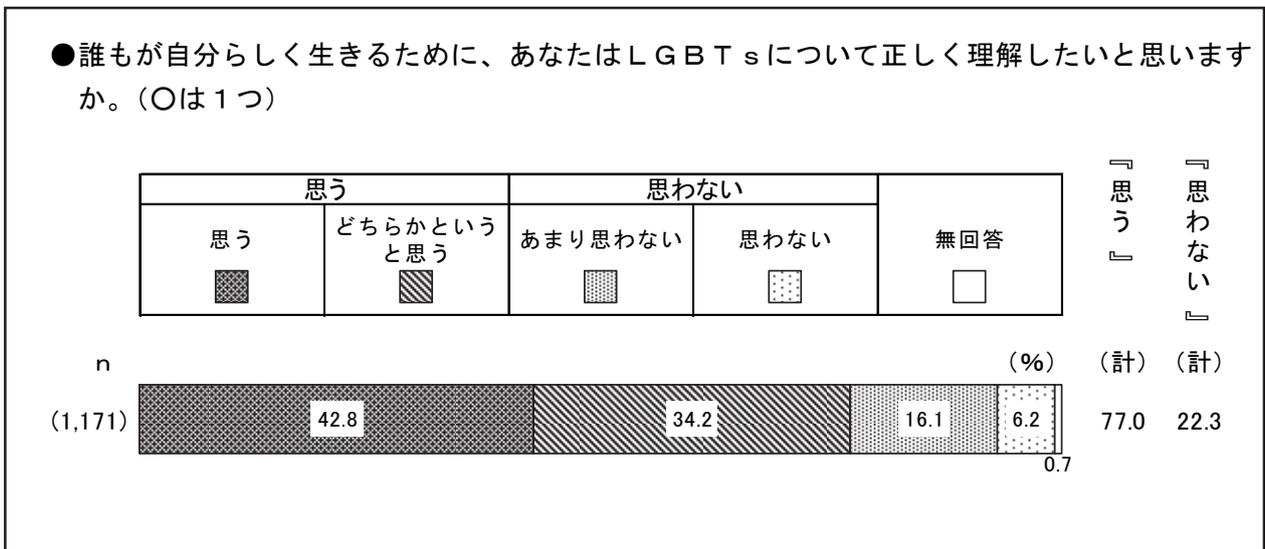
性別による不平等を感じることもあるか

◇「あまり感じない」が3割台半ば



LGBTsについて正しく理解したいと思うか

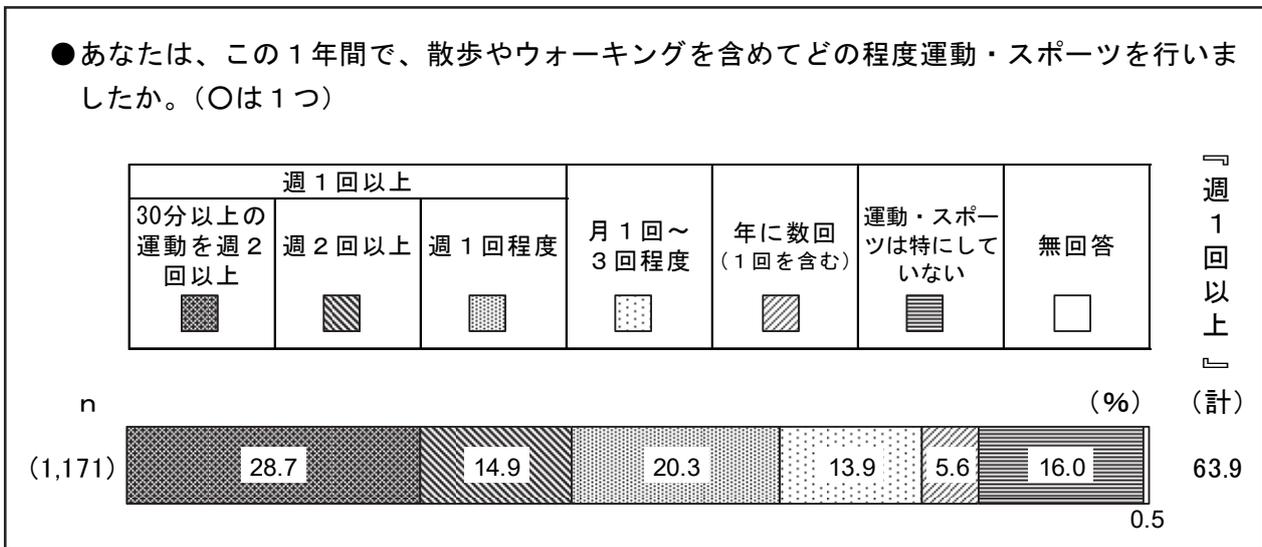
◇正しく理解したいと『思う』が7割台半ばを超える



12. スポーツ実施率

運動・スポーツを行う頻度

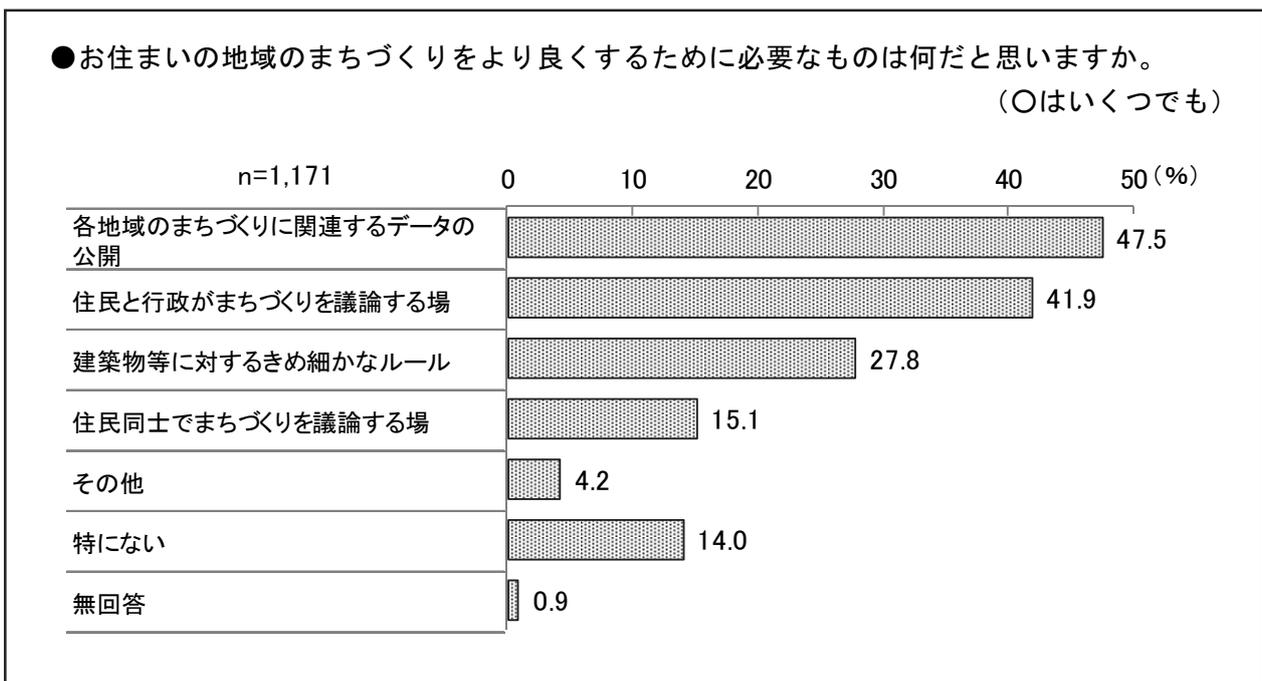
◇運動・スポーツを行う頻度が『週1回以上』が6割台半ば近く



13. まちづくりの進め方について

まちづくりをより良くするために必要なもの

◇「各地域のまちづくりに関連するデータの公開」が4割台半ばを超える

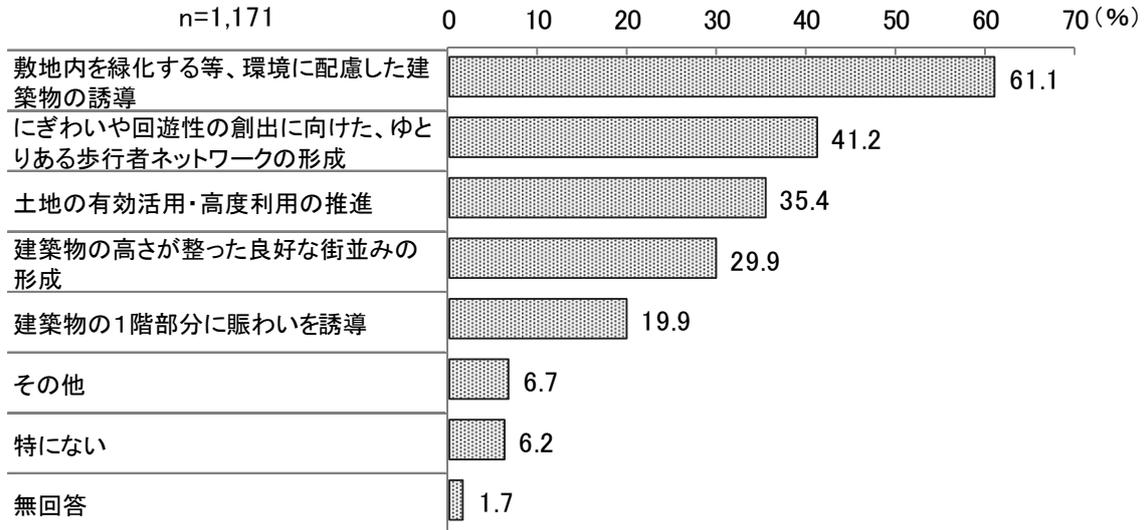


まちづくりのために取り組むべき具体的施策

◇「敷地内を緑化する等、環境に配慮した建築物の誘導」が6割強

●区がより良いまちづくりのために取り組むべき具体的施策は何だと思えますか。

(○はいくつでも)

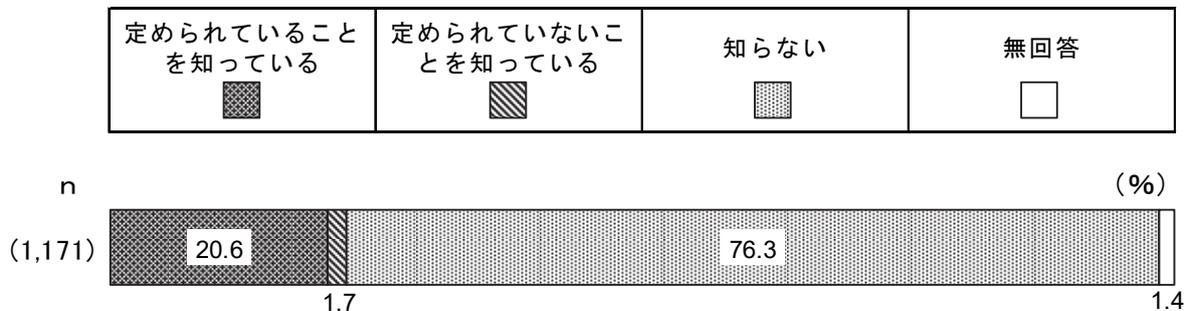


14. 地区計画などのまちづくりルール

「地区計画」の認知度

◇地区計画が定められているか、または定められていないかを「知らない」が7割台半ばを超える

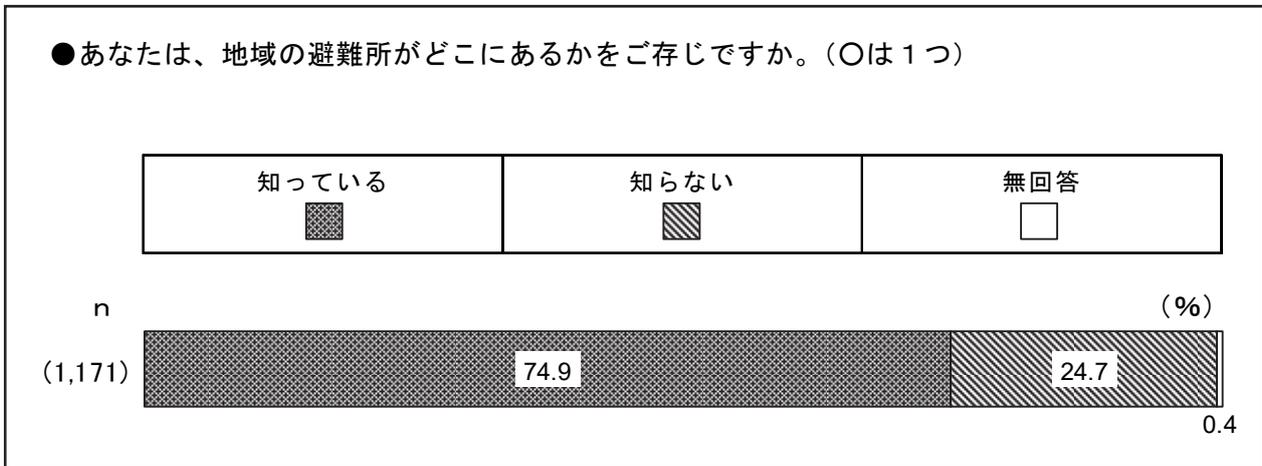
●お住まいのまちに「地区計画」が定められているか、または定められていないかをご存じですか。(○は1つ)



15. 区民の防災対策

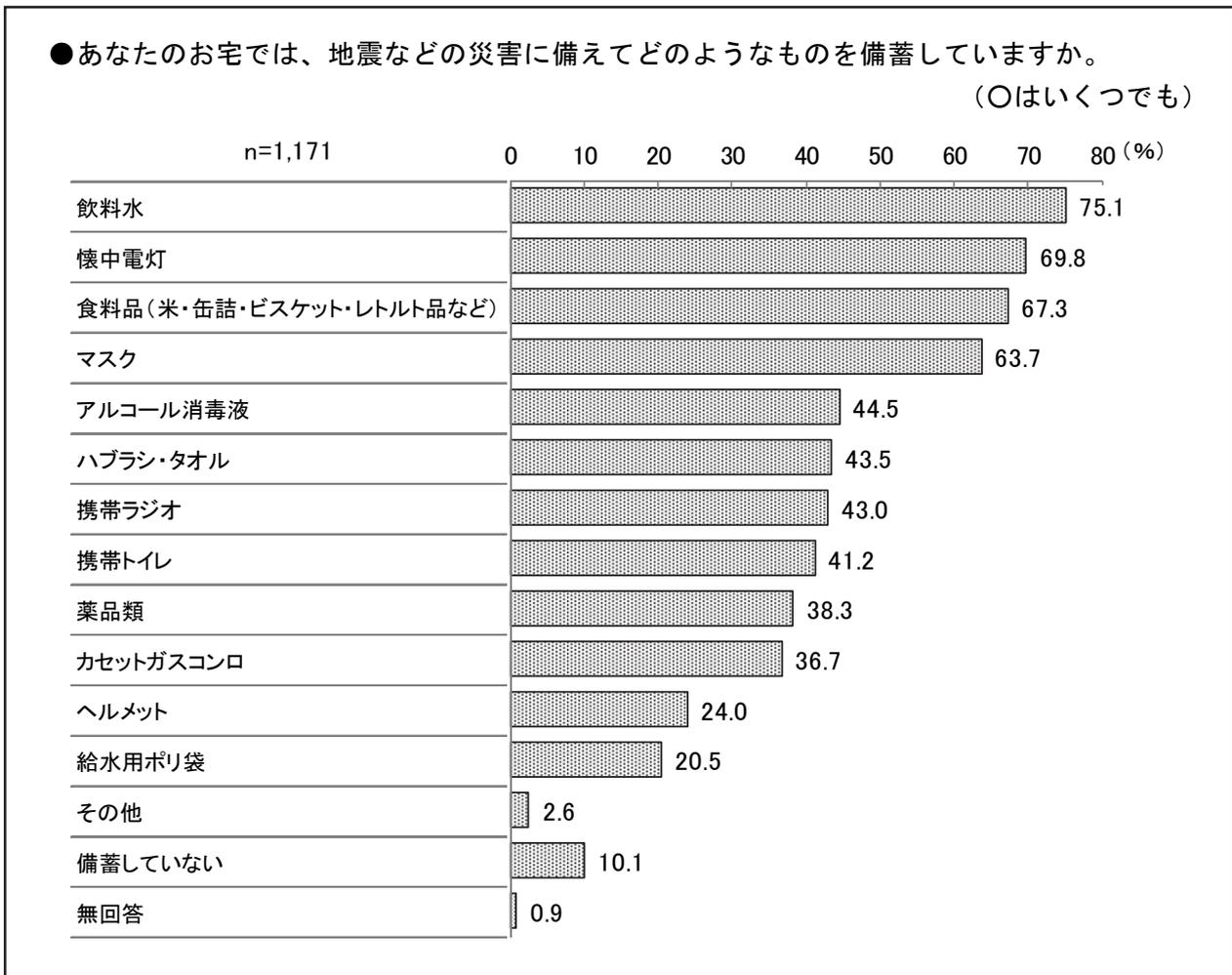
地域の避難所の認知状況

◇避難所の位置を「知っている」が7割台半ば近く



地震などの災害に備えて備蓄しているもの

◇「飲料水」が7割台半ば

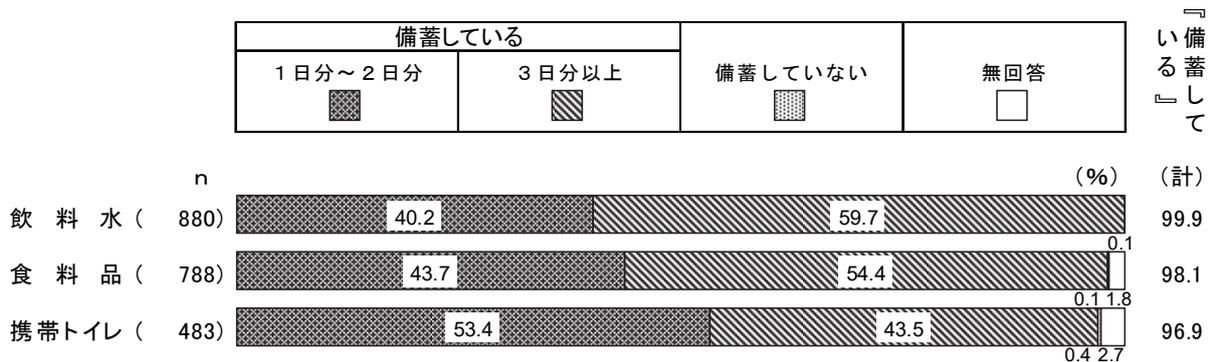


災害に備えた飲料水・食料品・携帯トイレの備蓄状況

◇「3日分以上」は“飲料水”で6割弱、“食料品”で5割台半ば近く、“携帯トイレ”で4割台半ば近く

(「飲料水」「食料品」「携帯トイレ」を備蓄しているとお答えの方に)

●あなたのお宅では、災害に備えて何日分の飲料水・食料品・携帯トイレを備蓄していますか。(参考：1人1日あたり 飲料水3リットル、保存食など3食、携帯トイレ概ね5枚)
(それぞれに○を1つ)



第 47 回 千代田区民世論調査（概要版）

□発行日／令和 3 年 2 月

□発 行／千代田区政策経営部広報広聴課

〒102-8688 東京都千代田区九段南 1 - 2 - 1

電話 03-5211-4173

□実 施／株式会社 C C N グループ

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3 - 7 - 4

電話 03-6262-9716